

世界遺産通信

IN 近野小学校

令和5年12月

vol.11

～世界遺産学習全国サミット inたなべ～

和歌山県世界遺産センター発行



2年間の取り組みの集大成

12月10日(日)、世界遺産学習全国サミットのエクスカージョンがありました。これまでの世界遺産学習の集大成として取り組みました。約30名の方が参加されていて2グループに分けての語り部となりました。道の駅熊野古道中辺路に集まり、児童の皆さんがグループに分けて語り部がスタートしました。昔の運搬道や、木の話など興味深いお話を披露してくれました。参加者からの質問にも自信を持って答えている姿が印象に残っています。牛馬童子では記念写真を撮る時間を取ってくれているなどの工夫もありました。道中では、滑りやすい石段で注意するように促してくれるなど心も温かくなるような時間を作ってくれました。近露の町を見渡せる展望台で集合写真を撮り、近露王子へと向かっていきました。

県指定無形文化財「野中の獅子舞」

近露王子では、王子社の説明や野中の獅子舞の説明をした後に、全校児童が集合して野中の獅子舞「道中」を披露してくれました。地元の獅子舞団の方も来られて笛を吹いてくださいました。初めて観る方もいたので楽しまれている様子でした。終了後に見せた児童の皆さんのやり切った顔がどこか誇らしく感じました。お疲れさまでした。



校長先生の話

数年ぶりに、語り部や獅子舞の披露をすることができ、本当にうれしく感じています。近野獅子舞団の方々をはじめ、保護者・地域の皆様方の協力や応援をたくさんいただきました。子供たちは、そうした多くの方々の思いを感じながら練習に取り組み、当日はその成果が表れた素晴らしい発表を見せてくれました。このような経験を積み重ねながら、子供たちがふるさとへの愛情や誇りを持ち、未来の地域を支える大人へと成長してほしいと願っています。

参加者の皆さんの感想

皆さんの郷土愛の深さが感じられ、ものすごく羨ましかったです。(田辺市学校職員)

2回目とは思えないくらいとても上手でした。みなさんの飾らない言葉のひとつひとつがとても伝わってきて心洗われました。九州から参加しましたが、来て良かったと思いました。(九州学校職員)

しっかりした口調で説明をしている様子を見て、感心しました。こちらの質問にも、学んだことを結び付けながら丁寧に答えてくれていました。

(県外 教育委員会)

